



TITLE:

「第2回液体金属の物性と構造に関する研究討論会」

AUTHOR(S):

CITATION:

「第2回液体金属の物性と構造に関する研究討論会」. 物性研究 1970, 13(5): 365-366

ISSUE DATE:

1970-02-20

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/87272>

RIGHT:

研究会報告

「第2回液体金属の物性と構造に関する研究討論会」

上記研究会が、日本金属学会第Ⅰ，Ⅱ総合分科主催の下に，1969年10月15，16日京大基研^{*)}において行なわれた。

報告課題と報告者は次の通りであった。

- | | | |
|------------------------------|--------|-------|
| 1. 融解現象の問題点 | 京大基研 | 松田博嗣 |
| 2. 液体金属の構造 | 東北大・工 | 田中実 |
| 3. 液体金属の電子状態 | 京大・理 | 遠藤裕久 |
| 4. 液体金属の密度および粘性測定の問題点 | | |
| — 主として溶融鉄の場合について — | 阪大・工 | 森田善一郎 |
| 5. 圧力下における融解潜熱 | 京大・理 | 遠藤裕久 |
| 6. 水銀液体の融点附近における構造の異常性について | | |
| | 東北大・金研 | 早稻田嘉夫 |
| | | 鈴木謙爾 |
| | | 竹内栄 |
| 7. 溶融鉄ならびにニッケルの中性子回折 | 東北大・金研 | 早稻田嘉夫 |
| | | 鈴木謙爾 |
| | | 竹内栄 |
| 8. 液体金属・合金の圧縮率の理論 | 東北大・理 | 長谷川正之 |
| | | 渡部三雄 |
| 9. Ziman 理論による水銀合金系の電気抵抗と熱電能 | | |
| | 豊田理研 | 武内隆 |
| | 名大・工 | 野口精一郎 |
| 10. 液体カリウム合金の電気伝導度 | 北大・理 | 伊丹俊夫 |
| | | 下地光雄 |

*) 世話人 竹内栄，森田善一郎，遠藤裕久，松田博嗣

研究会報告

11. ハライドイオンを含む水銀の電氣的性質 北大・理 市川和彦
下地光雄
12. 液体金属の電子状態の解析的モデル計算
九大・理 末崎幸生
13. 液体金属ナトリウム中における非金属 O, H, C の状態と
挙動について 原研 古川和男
勝田博司
14. 合金液体の粘性について 東北大・金研 飯田孝道
15. 液体金属の密度, 音速, 圧縮率測定の問題点
宮城教大 吉岡達雄
鈴木弘志
16. 最大泡圧法による密度測定の実例と問題点
東北大・選研 渡辺俊六
斎藤恒三
17. 高温における酸化物融体の密度測定の問題点
阪大・工 荻野和巳
西脇 醇
18. 不規則系のホール効果, 混晶 京大・理 福山秀敏

研究会終了後, 報告者に報告を提出して頂いた。以下にこれを掲載する。

(文責 松 田)